

令和 7 年度事業報告

【1】 法人

1. 理念

キリストの教えに基づき「人を愛し、助け、支える」を実践する。人を大切にし、人に感謝する。

2. 法人全体の目標

- (1) ひとりひとりが責任者として「安全」な環境を守ります
- (2) 互いに信頼し「連携」し サービスの質を向上していきます
- (3) ひとつひとつの交流を通して「地域との共生」をめざします

3. 概況

- (1) ・令和 8 年 1 月デイサービスセンター開設 30 周年（デイ報告に記載）
・令和 7 年 12 月特養において介護職員による入居者様への虐待事案発生（特養報告に記載）

(2) 労務状況

- 採用 11 名（常勤 8 名・非常勤 3 名・内新卒 0 名）
・特養 6 名（介護 4・看護 1・相談員 1）、ケアハウス 1 名（相談員）
伊勢寺デイ 2 名（介護）
- 退職 11 名（常勤 7 名、非常勤 4 名、内定年退職 0 名、内一年未満退職 3 名）離職率 10.8%
・特養 8 名（介護 6・看護 2）、ケアハウス 1 名（相談員）、デイ 2 名（介護、相談員）
- 上記採用の内人材紹介事業者利用
・特養 6 名（介護 4 名、看護 1 名、相談員 1 名）、ケアハウス 1 名（相談員）

(3) 設備整備・改修

- 全法人財務会計・給与計算システムクラウド移行(株CIJ) R7.6
移行時費用 665,500 円＋月額利用料 65,340 円(クラウドライセンス3式)

(4) 補助金・交付金

- 高齢者施設等運営支援交付金(松阪市) 2,682,000 円
- 三重県物価高騰対策支援補助金 6,876,000 円

4. 理事会

開催日時	協議議案	出席状況
R7. 5. 29(木) 13:30～14.50	第 1 号議案 令和 6 年度事業報告の承認 第 2 号議案 令和 6 年度決算報告の承認 第 3 号議案 監事交代に伴う後任候補者の承認 第 4 号議案 令和 7 年度定時評議員会招集の承認	理事 5 名 (1 名欠席) 監事 2 名
R7. 6. 14(土) 15:30～15.50	第 1 号議案 理事長の選定	理事 6 名 (欠席なし) 監事 2 名
R8. 3. 26 (火) 13:30～15:00	第 1 号議案 令和 7 年度補正予算案の承認 第 2 号議案 令和 8 年度事業計画案の承認 第 3 号議案 令和 8 年度予算案の承認 第 4 号議案 評議員交代に係る補欠候補者の承認	理事 6 名 (欠席なし) 監事 2 名

5. 評議員会

開催日時	協議議案	出席状況
R7. 6. 14(土) 13:30～15:15	報告事項・新評議員に関する事項・令和 6 年度事業報告 第 1 号議案 令和 6 年度決算書類の承認 第 2 号議案 新任期の理事・監事の選任	評議員 7 名 (1 名欠席) 監事 2 名

6. 主な活動

実施日	内 容
R7.4.1	開設記念（勤続 10 年感謝状授与）
5.15	会計監査（年度監査）（無藤和博会計事務所）
5.23	監事年度監査、評議員選任解任委員会
5.29	令和 7 年度第 1 回理事会
6.8	阿坂老人会奉仕作業
6.14	令和 7 年度定時評議員会、令和 7 年度第 2 回理事会
6.18、24	職員健康診断（松阪市健診センター・検診車）99 名受診
6.18	資産変更登記 1,205,312,620 円
7.2	法人代表者重任登記
8.21	苦情解決検討委員会（第三者委員会・上半期）
11.19	会計監査（中間）（無藤和博会計事務所）
12.21	職員の子供のためのクリスマス会中止につきプレゼント配付
12.25	クリスマス行事
R8.1.1	元旦祝賀昼食会
1.10	獅子舞（ケアハウス、デイサービス、特養にて）
1.29	苦情解決検討委員会（第三者委員会・下半期）
3.3	介護保険事業所運営指導（三重県）
3.26	令和 7 年度第 3 回理事会
R7.4～5	春期 職員腰痛検診（宮村医院）
R7.9～10	秋期 職員腰痛検診（宮村医院）

7. 会議等

実施日	内 容
毎月 1 回	役員会議
毎月 1 回	F D 会議（各事業所主任等集合会議）
毎月 1 回	事務職員会議
毎月 1 回	社会保険労務士 定例訪問

令和 7 年度 地域支援事業『ほっと一息』

開催地区	開催日	参加人数
美濃田地区	6 月 25 日(水)	19 名(男性 1 名・女性 18 名)
	9 月 25 日(水)	17 名(男性 1 名・女性 16 名)
	12 月 25 日(木)	15 名(男性 1 名・女性 14 名)
八重田地区	6 月 7 日(土)	中止(他の団体の慰問がある為)
	12 月 6 日(土)	18 名(男性 9 名・女性 9 名)
	3 月 7 日(土)	18 名(男性 8 名・女性 10 名)
深長地区	4 月 9 日(水)	14 名(男性 2 名・女性 12 名)
	7 月 9 日(水)	13 名(男性 1 名・女性 12 名)
	11 月 12 日(水)	13 名(男性 2 名・女性 11 名)
	3 月 12 日(水)	13 名(男性 2 名・女性 11 名)
伊勢寺地区	4 月 18 日(金)	12 名(男性 5 名・女性 7 名)
	7 月 18 日(金)	13 名(男性 5 名・女性 8 名)
	11 月 18 日(火)	9 名(男性 2 名・女性 7 名)
	2 月 18 日(土)	11 名(男性 4 名・女性 7 名)
大阿坂地区	9 月 13 日(土)	29 名(男性 20 名・女性 9 名)
	11 月 9 日(土)	24 名(男性 19 名・女性 5 名)
小阿坂地区	6 月 10 日(火)	17 名(男性 3 名・女性 14 名)
	9 月 9 日(火)	19 名(男性 4 名・女性 15 名)
	12 月 9 日(火)	25 名(男性 6 名・女性 19 名)
	3 月 10 日(火)	27 名(男性 6 名・女性 20 名)
川井町睦クラブ	8 月 5 日(火)	12 名(男性 2 名・女性 10 名)

『春まつり』5 月 18 日(日)

開催地区	順位	参加人数
美濃田地区	1 位	21 名
八重田地区	2 位	12 名
小阿坂地区	2 位	25 名
深長地区	3 位	13 名
レクリエーション(通り抜けフープ)・創作(けん玉を作った後にリレーを行う) 上記 2 点をタイムで競い順位を決めた		

【2】 特別養護老人ホーム、短期入所者生活介護

1. 総評

令和7年度、長期入所の稼働率は、91.2%となり、目標の年間目標稼働率、97%には未達となりました。令和6年度の稼働率は、93.6%でしたので、2.4%の減少となりました。入所判定会議を定例開催とすることで、稼働率の維持が下半期序盤まで、確保できていましたが、1月に8名の方の退所がありました。その後も、入所調整を行ってまいりましたが、目標値には、到達いたしませんでした。次年度は、現場との連携を強化し、待機者に速やかにアプローチができる体制を構築していきます。

ショートステイ事業は、年間目標稼働率、95%に対して、年間稼働率が96%となり、目標稼働率を達成することができました。長期入所を前提とした、ショートステイの受け入れをしたことで、稼働率の上昇につながりました。また、長期入所に切り替わった際の稼働率の低下が懸念されるため、新規のショートステイ利用者様の受け入れができるようにショートステイの空き情報を発信していきたいと思います。

また、令和7年度は、12月、夜勤帯において、虐待事案が発生しました。入所者様の尊厳を傷つけ、ご家族様や関係者のみなさまの信頼を裏切る結果となったことを心よりお詫び申し上げます。本件は、組織としての未熟だった部分が虐待事案につながったと考えています。認知症の方のケアの方法や業務の見直し、職員のストレスの緩和、そして、職員間の風通しの良い関係の構築など、特別養護老人ホームでは、この事案を重く受け止め、二度とこのようなことが起こらないように職員一丸となって、再発防止に全力で取り組んでまいります。

2. 職種別職員数（R8.3.31現在）

単位：人

職 種	員 数			兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1		1					
介護支援専門員		2	1.86					
ケアワーカー	26	7	30.5		4		5	1
看護師	4		4		1		1	
管理栄養士	1		1		1			
生活相談員	1	2	3		1			
事務員	2	2	3.6					
作業療法士	1		1					
医師		4						
介助員		2						
用務員								
シルバー人材		1						

3. 特養利用状況、月別入退所状況（各月末人数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用者	86	86	85	86	88	88	89	86	87	82	81	82	1026	85.5
入所	1	2	1	3	4	3	2	2	3	3	1	2	27	1.92
退所	2	2	2	2	2	3	2	4	2	8	2	1	32	2.67

4. 短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人	30	29	33	30	39	32	33	30	32	34	38	39	399人
延日数	367	341	383	469	495	424	434	379	448	477	470	570	5257日

5. 利用実人員（入院者を除いた数）

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
84	81	80	78	83	83	86	83	84	81	79	79	981

6. 介護度別利用人員

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33	2.75
要介護2	6	5	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	50	4.17
要介護3	27	28	26	27	28	29	28	29	31	31	30	29	343	28.58
要介護4	33	33	36	35	35	34	34	33	33	33	30	30	399	33.25
要介護5	20	20	19	19	20	21	21	21	19	19	16	17	232	19.33
計	88	88	87	88	90	91	90	90	89	90	83	83	1057	88.08

7. 入退居状況

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	11	死亡による	24
老人保健施設	1	在宅復帰	0
養護老人ホーム	1	長期入院	7
ケアハウス	3	他施設	0
病院	5	その他	1
短期入所継続	4		
他施設	2		

8. 利用期間状況（R8.3.31現在）

期間	男	女	計
1年未満	7	14	21
1年～3年未満	12	14	26
3年～5年未満	3	14	17
5年～10年未満	4	12	16
10年～15年未満	0	1	1
15年以上	0	1	1
計	26	56	82

9. 年齢・性別状況（R8.3.31現在）

	男性	女性
最高年齢	102	102
最低年齢	65	74
平均	85.4	90.5
全体平均	88.9	

10. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
役員会議	施設長	月1回
FD会議	課長・主任	月1回
主任会議	施設長・課長・各主任	月1回
職員会議	全職員	月1回
感染症対策委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	月1回
身体拘束廃止委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	1ヶ月に1回
入所判定委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	随時
事故発生防止委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	1ヶ月に1回

1 1. 研修状況

《施設内研修》

5月14日	医療について	20名
6月18日	食中毒について	20名
7月16日	接遇について	20名

《スキルアップ研修》

4月16日	令和6年度の振り返り・令和7年度年間計画について	17名
5月14日	感染症について	20名
6月18日	事故発生防止について	20名
7月16日	高齢者虐待について	20名
8月13日	褥瘡予防について	17名
9月17日	上半期総括・下半期に向けて	16名
10月15日	感染症について	18名
11月19日	身体拘束廃止について	19名
12月17日	緊急時の対応について	17名
2月18日	事故発生防止について	17名
3月18日	非常災害時の対応について	19名

《施設外研修・オンライン研修》

5月23日	令和7年度雇用主説明会	1名
5月29日	令和7年度退職金共済制度初任者研修（オンライン）	1名
7月10日	社会保険事務基礎講座	1名
8月19日	令和7年度給食施設管理者研修（オンライン）	1名
10月15日、16日	日本カトリック高齢者施設協会 関西支部研修	2名
11月14日	みえ福祉用具フォーラム	1名
2月13日	中南勢ブロック研修 第1回生活相談員情報交換会	1名

※従来の集合型の研修では、全員参加の困難さや研修準備に時間を要することが課題となっていました。これらを解消し、全職員が等しく研修を受ける機会の確保をするため、令和7年度より、オンライン研修システムを導入しました。

1 2. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	実施主体	内容	担当者
8月31日	県集団指導	介護保険の集団監査	課長・介護支援専門員・生活相談員
11月1日	情報公開制度	インターネットにて情報公開	施設長

1 3. 苦情受付等の状況

受付年月日	苦情申立者	内容
11月9日※1	娘様	ショートステイ利用中、旅行先の韓国滞在中に南勢カトリックからショートメールが届いた。内容から母に何かあったのではと心配し施設へ連絡したが、「担当者不在のため12時30分に再度連絡を」と案内された。指示どおりに電話したが「休憩中で不在」と対応され、その後も「施設からショートメールは送っていない」と説明されたため、メールの発信元は不明のままとなった。また、依頼していた痛み止めも実際には服用されていない様子だったとの苦情があった。

※1 に対して、ショートメールの件については、固定電話からショートメールが送信できるか原因は不明でありました。システムエラーの可能性もあり。電話連絡についても、相手がかけ直しますと話されて、連絡がつかない場合は、時間を空けて、施設側からも連絡をし、状況の説明をし、不安の解消に努めます。

薬の服用の件については、ご自宅に伺い、残薬をご家族と一緒に確認することで、飲み忘れではなく、服用ができていたことを確認することができた。服薬状況の確認の問い合わせがあった際に確認ができる体制の構築し、ご家族に安心していただけるよう説明を行い対応し、再発防止に努める。

1 4. ありがとうメッセージ

受付日	申出者	内容
9 月 6 日	娘様より	面会時に表情から、「よくしてもらっているのですね。」というお声をいただきました。また、食事は、残さずに召し上がられていることをお伝えすると、「ありがとうございます。」というお声もあわせていただきました。
10 月 29 日	娘様より	「この職員さんは、どの職員さんも親切で、ありがたいです。」というお声をいただきました。
11 月 29 日	お嫁様より	新しい衣類を届けていただいた際に、以前に預からせていただいた衣類について、「施設で名前を布に書いて、縫ってもらっているのですね。ありがとうございます。」というお声をいただきました。
12 月 21 日	息子様より	令和 2 年 7 月に入所をされ、令和 7 年 10 月にご逝去をされた入所様のご家族様から、「100 歳を迎えることができ、また、5 年 3 ヶ月にわたり、お世話をいただきありがとうございます。」というお声をいただきました。

1 5. 事故・ヒヤリハット報告

事故発生日	内容
7 月 22 日※1	入浴、脱衣介助時に右腕に触れると、痛みあり。あわせて、内出血と腫れが確認されたため、整形外科に受診。結果、右上腕部の骨折と診断を受ける。
8 月 13 日	ショート利用時預かった内服薬を回診車に残したままになっていた。服薬忘れ。
1 月 23 日※2	入浴、脱衣介助時に左乳房に 10cm×5cm 程度の内出血が確認されたため、整形外科に受診。結果、第 4 肋骨骨折との診断を受ける。
2 月 5 日	食事時に意識消失があり、介護職員が、声かけ、タッピングを実施するも、回復せず。口腔内の食物を掻き出し、吸引を施行。意識の回復が認められず、AED 装着し、救命措置を実施。

※1 に対して、整形外科に右上腕部の骨折と診断を受けました。高齢者は、骨が脆い状態であり、少しの負荷がかかっただけでも、折れやすい状態であったのではないかと推察された。また、要介護⑤の方なので、ご自身で動作することが難しく、職員が、衣類の更衣介助、オムツ交換、移乗介助など場面において、負荷をかけてしまい骨折にいたったのではないかと結論にいたった。あらためて、高齢者のお身体の特長や適切な介助について、職員に啓発を行い、再発防止に努めてまいります。

※2 に対して、入浴、脱衣介助に内出血が確認をされ、整形外科受診後、骨折と診断を受けた。その方は、介護抵抗が激しく、職員 2 人で対応することもしばしばありました。介助の際にその方の抵抗と職員の業務を進めなければならないという気持ちの中で、骨折にいたるような介助にいたったのではないかと推察された。また、認知症もあり、日頃から、少し、お身体に触れるだけでも、痛みを口にされる方であったので骨折による痛みなのか、職員の気づきも遅れてしまった部分もありました。今後の対応として、介護拒否や抵抗がある際の無理に介助を進めるのではなく、時間を空けて、再度、介助を試みるなど、関わり方を明確にし、職員のストレスを軽減し、安全で安心なケアの統一を図ります。

ヒヤリハット種別（年間延べ件数）

	転倒・転落	表皮剥離	誤薬	利用者間 トラブル	骨折	その他	合計
令和6年度	165	29	12	4	4	139	353
令和7年度	160	19	28	15	1	154	377

＊令和7年度は、ヒヤリハット総件数が増加したものの、転倒・転落、骨折等の身体的リスクは、改善傾向にありました。一方で、誤薬および利用者間のトラブルが大幅に増加しており、業務プロセスおよびケア体制に起因する新たなリスクが顕在化しているように感じました。引き続き、誤薬防止と利用者間のトラブル対策に取り組む必要があると感じました。

1 6．行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
4月1日	開設記念日（行事食）	ご馳走を頂き皆さんで開設記念をお祝い。
9月15日	敬老行事	敬老の日、お祝い膳でお祝い。
10月31日	ハロウィン	職員が思い思いに仮装をし、お菓子のプレゼントを実施。
12月25日	クリスマス	職員が、サンタクロースに扮してプレゼントを配布。
1月1日	元旦昼食会	昼食会にて新年をお祝い。

1 7．リハビリ状況等

令和4年3月末

区分	場所	実施日	担当者	内容	人数	備考
ベッドサイドリハビリ	居室	月～金	作業療法士	機能維持訓練 環境整備	5名	対象者に 週2回以上実施
グループリハビリ	東棟2・3階 帰設棟食堂	月～金	OT 補助	歌・体操 脳トレなど	63名	作業療法補助 出勤日に実施
OT リハビリ	機能訓練室	月～金	作業療法士	機能訓練 ADL 練習 物理療法など	28名	個人の状態により 回数は、異なる
音楽療法	東棟1階 既設棟食堂	月3回	音楽療法士 OT 補助	歌唱・体操 楽器演奏 等	79名	1グループ 10～15名 2ヶ月1回参加
口腔体操	食堂 各居室	毎日	介護職 看護師	口腔体操 口腔マッサージ 発声など	82名	対象者に 週2回以上実施

1 8．施設整備状況

《物品購入》（1件10万円以上）

検収月	物 品 名	数量(単位)	税込購入費(円)	リース利用の有無
5月15日	全自動汚物除去機	1	1,256,200	無
6月13日	無線 LAN ルーター Wi-fi6 ネットワーク工事	10 台	395,780	無
2月5日	東棟チェアーバス	1	5,577,000 円	無

《整備事業》

実施月	整 備 事 業 名	税込事業費(円)	リース利用の有無
2月13日	東棟自動ドア修理	589,600 円	無
2月24日	東棟屋外型給湯1次ポンプ取替	550,000 円	無

19. 事業目標に対する総括

《特別養護老人ホーム》

【目標】

『連携』

- (1) 多職種で連携し、専門性を高め、生産性を向上していきます。
- (2) 南勢カトリックの価値を高めるため、入居者様、利用者様に提供するサービスの質を向上していきます。

『安全』

- (1) 南勢カトリックに来て良かったと言ってもらえるよう、入居者様、利用者様と職員の心身の安全を確保します。
- (2) 災害発生時も事業が継続できるように体制を整えます。

『地域との共生』

- (1) 私たちの事業を知っていただけるよう情報発信し、ファンを増やします。
- (2) 地域のみなさまに選んでいただけるよう地域福祉事業に貢献します。

(連携)

- ・定例のカンファレンスを中心に入所者様、利用者様の支援を検討、実施しています。しかし、情報共有が行き届かずに、支援に影響が出ることもありました。今後も、継続して、情報共有のスピード、漏れをなくすための仕組みづくりに取り組んでいきます。昨日のことを今日に、今日のことを明日につないでいき、支援が途切れない、施設づくりを引き続き行います。

(安全)

- ・令和7年度の12月、夜間帯において、虐待事案が発生し、入所者様の尊厳を踏みにじってしまいました。南勢カトリックに来てよかったと言ってもらえると指針から、大きく外れてしまった事案です。発生の要因として、職員にヒアリングを実施し、ナースコール対応とオムツ交換業務を進めないといけないという焦りの気持ち、認知症のある入所者様への対応方法、他の職員にSOSを出せない風通しの悪い関係などが声が聞かれました。現在、虐待事案を2度と発生させないという決意のもと、南勢カトリックに来てよかったといってもらえる施設になるように職員一丸となって、改善に取り組んでまいります。

(地域交流)

- ・特別養護老人ホームのファンを増やす取り組みとして、インスタグラムへの投稿、パンフレットの刷新を実施いたしました。ほっと一息事業においては、介護職員だけでなく、多職種で参加をいたしました。特別養護老人ホームの中だけでは気づくことができない、地域の方の声をダイレクトに聞くことができる貴重な機会となりました。地域に選ばれる施設から、なくてはならない施設と深化させていく必要があると感じています。

《介護》

【南棟目標】

(連携)

- (1) ケアワーカー、他部署共に報告、連絡、相談をしっかり行い利用者様のニーズに沿った介護を提供する。
- (2) 職員同士で改善するべきことの声をかけ合い、解決に向けて話し合い、気持ちよく仕事ができる環境、チームワークを作る。

(安全)

- (1) 入居者様、利用者様が不安を感じられないよう、気持ちに寄り添った丁寧なコミュニケーションを心がける。
- (2) 入居者様、利用者様が快適に過ごせるよう整理整頓を行います。

(地域交流)

- (1) 入居者様、利用者様家族の面会時、服装の汚れや身だしなみに注意し整える。
- (2) ショートステイの忘れ物0を目指し、利用して良かったと思ってもらえるよう努める。

(連携)

- (1) 連絡ノートを作成し職員間でのやりとり、効率化を目指した。浸透するまで時間を要したが現在では有効活用できていると思われる。次年度も同様の体制での運営となるため、より密な連携をとれるよう積極的に活用していきます。

- (2) 職員同士での改善点の声掛けや話し合いを意識して取り組みました。業務の効率や引き継ぎの精度は連絡ノートで改善がみられましたが、職員間での注意の仕方や伝え方の難しさがあり十分な話し合いにはいっていませんでした。

(安全)

- (1) 虐待事案が発生し、改めて関わり方の重要性を認識する結果となりました。その後は言葉遣いや態度に配慮した声掛けを意識する職員の姿が多く見られ、改善への意識は高まっています。今後も継続して取り組む必要があります。
- (2) 他業務を優先することが多く生活環境の整備までいらず、課題が残る結果となった。次年度より環境整備委員会と連携し改善を目標とします。

(地域交流)

- (1) (2) 面会前に服装の汚れや乱れに注意し、目ヤニや口周りの汚れなども気を付けました。ショート使用者の荷物に関しても気を付けて確認してくれており忘れ物などもだいぶ改善したと思われるが目標である0にはいたっていないので次年度も継続して忘れ物0を目指します。

【中央棟目標】

(安全)

- (1) 入居者様、利用者様1人1人とのコミュニケーションを大切にして相手の気持ちに配慮した介助を行う。
- (2) 入居者様、利用者様が安全に快適な生活が送れるよう整理整頓を行います。

(連携)

- (1) 職員同士が認め合い注意し合える環境を目指します。
- (2) マニュアルの見直しを行い業務改善に取り組みます。

(地域交流)

- (1) 定期的にレクリエーションを実施し利用者様に楽しい時間を提供するとともにご家族にも発信していきます

(安全)

- (1) (2) 声掛けを意識して行う事で、入所者様に安心して生活して頂けるように多忙時の対応についても、見直しを行い関わり方について意識する場面が増えてきています。移乗時の環境確認にも注意することで怪我の予防につながっており全体として改善傾向がみられています。

(連携)

- (1) 意見の伝え方や受け取り方の難しさもあり、十分に実現することは出来ませんでした。遠慮や配慮から声をかけにくい場面も多く、課題の残る一年となりました。今後も継続して取り組む必要があります。
- (2) 業務改善などを目的に連絡ノートを作成し運用を開始しましたが十分な活用がされていないため、浸透できるよう次年度の課題とします。

(地域交流)

- (1) 目標の回数を安定して行う事は出来ませんでした。担当する棟職員ではない職員が業務に就く日も少なくないため、レクリエーションの規模の縮小と頻度を検討し次年度より最適化します。

【北棟目標】

(安全)

- (1) 入居者様、利用者様が安全快適に生活できるよう居室の整理整頓を行います。

(連携)

- (1) 棟内の課題を共有し業務改善を行います。
- (2) マニュアルを意識し、統一したサービスを行います。

(地域交流)

- (1) 月1回外へ出る機会を持ちます(日向ぼっこなど)全員行えるよう努めます。
- (2) 入居者様の暮らしの様子を発信するためにインスタグラムに挑戦します。

(安全)

- (1) ショート利用者様含め、北棟内・外での入所者様の居室移動もありましたが、棟内職員で適時確認し対応できたと思います。
- 各居室担当での衣類準備などは不十分な事もあったので次年度に向けて改めて確認者を設けるなどして改善していきます。

各居室担当での車椅子などのチェック・清掃も不十分な事があったので次年度に向けてチェックシートを設けるなどして改善していきます。

(連携)

(1)(2)棟内職員間で課題共有と改善に向けた取り組みについては都度対応出来ていたと思いますが配置職員の少なさや棟内職員が顔を合わせる日とれず、日勤職員に負担がかかることが多くなっていた。次年度はある程度当日の配置職員に動き方などの自由度を持たせて報告だけは確実にを行うことを徹底し柔軟に対応していきたいと思います。

(地域交流)

(1)(2)配置職員不足によりレクリエーションを行う余裕を持つことが難しかった1年でした。次年度は、レクリエーション実施の計画を立て、計画的に実施していきたいと思います。

【東棟目標】

(安全)

- (1)入居者様、利用者様が安全に生活出来るような環境作り、整理整頓を行う。
- (2)入居者様、利用者様の立場になり、寄り添いながら適切な介護を行い、自立支援を促す。

(連携)

- (1)業務マニュアルの見直しを行い、統一されたサービスを行う。
- (2)職員同士が注意し合い、ともに成長できる職場環境を目指す。

(地域交流)

- (1)南勢カトリックのファンを増加させるため、情報発信、家族様に安心の提供(東棟通信)を継続して行く。

(安全)

(1)(2)入所者様や職員に対して加害行為が見られる入所者様への対応について、施設内で協議を行いました。しかし、十分な対応方法を決めることが出来ず、ご本人や周りの入所者様に不安やご迷惑をおかけしてしまう場面がありました。今後は、情報共有を速やかに行うことと職員間での対応の統一を意識し、改善に向けて取り組んでいきたいと思います。

(連携)

(1)(2)人員不足により、レクリエーション等の実施が難しい場面がありました。一方で、入所者様の楽しみや生活のハリを大切にしたいという思いもあります。今後は、日々の業務内容や優先順位を見直し、職員間で調整しながら時間を作り、無理のない形でレクリエーションを継続して行くことが課題だと感じています。

(地域交流)

(1)(2)3~4カ月に1回、東棟通信をご家族へ送付しました。職員同士で協力しあい、季節の写真や日頃の様子を撮影し、職員からのメッセージも添えることが出来ました。ご家族に入所者様の様子を知っていたく大切な機会として、今後も継続して取り組んでいきたいと思います。

【看護部目標】

(安全)

- (1)日々入居者様、利用者様の体調管理に努め、異常の早期発見に繋げる。異常の際は主治医と連携をとり、初期対応を迅速に行い、安全の確保に努めます。
- (2)災害発生時、医務室内の業務が継続できるよう体制を整えます。

(連携)

- (1)医務室内での連携は常に情報を共有し、確認すると共に、日誌への記載、伝達ノートへの記載漏れの無い様子を掛けあいながら実践します。
- (2)常に相手の気持ちに配慮し、相手を責めることなく、言葉使いに気を付け、コミュニケーションを図ることで、スムーズに支援が行えるように努めます。
- (3)毎月勉強会を行い、手技の確認・統一を図り、サービスの質の向上に努めます。

(地域との共生)

- (1)医務室から特養のインスタへの投稿へ挑戦し、情報発信を目指します。
- (2)ショートステイ利用者様の返却忘れ0を目指します。

(安全)

- (1)に対して、異常を発見時、主治医との連携を早期に実施することができ、受診や救急対応等迅速に医療に繋げることができました。ケアワーカー、相談員との連携が取りにくい場面もあり、今後、迅速に対応できるように対応等検討する必要があります。
- (2)に対して、施設の BCP を読み込み、災害発生時医務室として何をどう対応していくか検討することができなかったため、今後体制を構築していく必要があります。

(連携)

- (1)に対して、各自記載漏れの無いように声掛けを行い、記載漏れの無いよう心掛けるようにしていますが、どうしても不足している部分もあります。まだ記載漏れはある為、今後お互いに声を掛け合いながら、注意していきます。
- (2)に対して、現在十分なコミュニケーションが図ることができない事もある為、スムーズな支援が行えるよう、全員が相手を尊重する気持ちを大切にします。
- (3)に対して、医務室会議内での勉強会の実施を行うと共に、疑問に思ったことはその都度調べ、手技の確認を行うことができましたが、サービスの質の向上に繋がることが難しかったと思います。
今後も気付いたことは医務室会議内で取り上げ、全員が同じ対応ができる様にし、基本的な技術の向上に努めます。

(地域との共生)

- (1)に対して、医務室からの情報発信はできませんでした。
- (2)に対して、返却忘れは改善出来てきていますが、0にはならず、新しくチェック表を作成し改善に努めます。

【事務部目標】

(連携)

- ・業務の見直し、職務の明確化を行い生産性の向上に努めます。

(安全)

- ・計画的な設備・備品整備を行い、安心安全な生活環境・職場環境を守ります。
- ・災害発生時のリスク検討、対応方法の検討を行い、事業継続が可能な体制を整えます。

(地域交流)

- ・インスタグラム投稿内容の質の向上に努めます。

(連携)

- *連携に関しては、業務の見える化を行うことで、引き継いだ時の数字の意味の理解やミス等の気づきにつながる機会やコミュニケーションをとる機会が自然と増えたと感じています。今後は、他部署間の連携の質を増やし、円滑な業務遂行に努めてまいります。

(安全)

- *長期的な建物・設備・備品の整備計画の作成に関して、現状の認識の共有、今後の整備に関する方向性について話し合いを行いました。建物整備については、改修を前提に行う方針となり、設備・備品については、現状、使用できているので、入れ替え等を行わないのではなく、耐用年数・故障頻度を考慮し、見積額、納期や整備に係るまでの期間を早めに把握し、整備計画の優先度を決めていきます。
- *具体的には、居室のカーテン整備計画、職員の制服に関する入れ替え計画を作成しました。令和8年度以降は、設備・備品に加え、建物に関しても、より具体的な計画の立案を行っていきます。

(地域交流)

- *インスタグラムの投稿について、素材作成(写真撮影)は、でしたが、実際に投稿までにいたらないことが多くありました。今後は、更新頻度の向上に努めます。

【総合支援部目標】

①安全の確保（『安全』の推進）

- ・入所者様・利用者様が「南勢カトリックに来て良かった」と思えるよう、個別支援の充実を図る。
- ・災害発生時の対応力を高めるため、避難訓練の強化や家族との情報共有を推進する。

②施設内外の連携の強化とサービスの質の向上（『連携』の推進）

- ・施設内外の多職種との連携を強化し、チームワークケアを推進する。
- ・カンファレンス・各種会議の質を向上され、入所者様・利用者様にとって最適な支援を提供する。
- ・相談支援業務を可視化し、円滑な情報共有と業務の標準化を図る。

③地域とのつながりを深める総合支援（『地域との共生』の推進）

- ・地域住民や関係機関と連携し、施設の取り組みを発信する。
- ・地域福祉事業に積極的に参加し、施設の認知度向上と地域から選ばれる施設づくりを目指す。

① 安全の確保（『安全』の推進）

入所者様・利用者様一人ひとりのニーズに応じた個別支援を実施し、衣類・嗜好品の調整や買い物支援、介護シューズの導入など、生活の質の向上に努めました。

また、看取り期においてはご家族への説明や寄り添いを行い、安心して過ごせる環境づくりを推進しました。事故発生時には速やかな報告と情報共有を徹底しました。

一方で、外出時の事前準備や整容面において苦情があり、支援の質のばらつきが課題として明らかとなりました。

これらを踏まえ、再発防止と支援の質向上に向けた取り組みを行いました。

②施設内外の連携強化とサービスの質の向上（『連携』の推進）

退院後や看取り期における早期カンファレンスを実施し、多職種間での情報共有と支援方針の統一を図りました。

また、相談員マニュアルの見直しやアセスメントシステムの運用により、業務の標準化と情報共有体制の強化を進めました。

外部居宅支援事業所へのモニタリング提出や内部連携も進み、支援体制の円滑化につながりました。

③地域とのつながり（『地域との共生』の推進）

地域行事への参加や地域団体との協働作業、第三者委員との懇談会を通じて、地域との関係構築を進めました。

また、「ほっと一息事業」や慰問活動等を通じて継続的な交流機会を確保し、施設の認知と信頼の向上に寄与しました。

【3】デイサービスセンター（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 総評

○ 一年間の概況

30周年祭：R8年1月5日～10日

全事業所の協力のもとご利用者様に喜んでもらえる盛大な一週間とすることができました。

年間稼働率 78.1%【R4年 67.5% R5年 66.1% R6年 75.3%】

昨年より稼働率 2.8% 利用日数 271日 それぞれ増加しています。

コロナ後より少しずつ改善していますが、今年も目標とする数字までは遠く及ばない一年でした。

考察

- ①水曜日以外は定員枠を埋める事がほぼできたが、時短者も多く収益には大きく影響していない。
- ②重度の方はショートと併用であったり入所で一定期間で利用が途絶えてしまう現状があるため、要介護3～5の方の利用が思うほど伸びていない。
- ③外部のケアマネからの紹介は継続して頂けている。

課題への取り組み

相変わらず短時間利用者が多いのが課題です。新しくご紹介頂くと短い時間でということが多いのかなと思います。そんな中でも30周年の良い影響もあり4人の方は一日利用に繋がりましたが、R7年3月時点で73人中20名（内訳4～5：13人、6～7：7人）の方がまだいらっしゃいます。

2. 職種別職員数

単位：人

R8 年 3 月末現在				兼務等の状況	R7 年度実績			
職種	員数				採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
事業所長	1							
センター長	1							
介護職	2	4	(3.0)	生活相談員		2	1	
看護師	1	4	(2.4)	機能訓練指導員				
生活相談員	3							
事務員		1						
機能訓練指導員	1	4	(2.4)					
運転士		1		シルバー人材				
用務員		1						

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	633	653	588	615	611	593	647	587	596	561	536	610	7,230	602.5
新規利用	0	1	1	2	2	5	2	4	2	2	4	2	27	2.25
利用中止	4	3	3	2	3	1	3	1	3	3	3	0	29	2.41

4. 地域別利用者分布（R7.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺、岩内、美濃田	18
大阿坂、小阿坂	16
深長、八重田、曲	10
その他	28
計	72

5. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	27	25	27	26	26	27	25	25	24	24	26	308

6. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
54	53	56	54	55	58	60	62	63	65	66	68

7. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比(%)
現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	15	18	13	8	9	8	8	4	3	4	4	5	99	8.3	1.4
要支援2	38	41	44	48	44	57	59	51	44	40	35	40	541	45.1	7.5
要介護1	223	223	179	219	210	201	210	210	224	225	207	243	2,574	214.5	35.6
要介護2	218	220	209	197	209	182	206	172	186	160	151	159	2,269	189.1	31.4
要介護3	94	104	110	134	113	99	98	93	85	71	72	86	1,159	96.6	16.0
要介護4	20	22	25	2	19	39	60	50	48	54	55	70	464	38.7	6.4
要介護5	25	25	8	7	7	7	6	7	6	7	12	7	124	10.3	1.7
合計	633	653	588	615	611	593	647	587	596	561	536	610	7,230	579.9	100

8. 研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
R7 年度介護保険等サービス事業者集団指導【動画視聴】	三重県健康福祉部 福祉監査課監査班	8/29 まで	デイサービス	所長
安全運転管理者研修	三重県安管協議会	7/7/18	華王殿	所長

9. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	苦情申立者	内容	担当者
R7/10	介護情報の公表	パソコンでの更新	所長
R8/3	運営指導	書類・実地調査等	所長・センター長

10. 苦情受付状況

受付年月日	苦情申立者	内容
R7/10/14	娘様	看護師の態度について

○改善状況

①対応がきつい。バイタルチェックの時に声掛けなしに脇に体温計を突っ込んだり急に血圧計を巻かれたりする。利用者の話も聞かずにあかんと言ったり聞いていて怖い時がある。特定の日や人ではなく今までデイサービスを利用して居ての感想です。

➡ヘルパーさんが来た時の話の話題の一つとして話をした程度なので大袈裟にはしないしてほしいとのことでしたが、本人様には名前を出さない事を約束し職員で情報共有する事について理解を頂きました。カンファレンスにて情報共有をし、確認を行いながらの対応の必要性、相手の立場に立って否定的な言葉は避けることを話し合いました。

11. ヒヤリハット状況

尻もち・転倒	入浴（入浴場・脱衣場）	薬	忘れ物等	接触による怪我	食事・おやつ
13 件	4 件	0 件	5 件	0 件	2 件

24件のヒヤリハットが見られております。

薬やトロミの付け忘れはなく、昨年からの改善が見られましたが、別に大きな事故に繋がりがねないヒヤリがありました。排泄介助でトイレに移乗介助をしたのは良いが、そのまま1時間声掛けするのを忘れるという事がありました。しかも同じ利用者様で2ヶ月続けておきてしまいました。

また、壁の創作物を外した際に画鋲が落ちたことで翌日ご利用者様がその画鋲で足をついてしまいました。落下がないか確認したが、その確認が不十分だったと言わざるを得ません。

こういう事故がないようにしっかり注意をしていく事を話し合っております。

12. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
7/6/7	娘様	一昨日、本人の葬儀を済ませました。カトリックには長い間お世話になりました。デイサービスを利用していた時が一番楽しそうな時期でした。98歳まで生きさせてもらいカトリックの皆さんには感謝しかありません。
7/8/18	ヘルパー	転倒を繰り返すように「あんな所には行きたくない。」とデイサービスの利用を拒んでいましたが、思い切って体験してみました。そうすると漢字の良い所で安心しました。これなら続けられると思いました。ありがとう

13. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	463	454	435	430	431	414	498	457	453	420	400	457	5,312

7割以上が訓練実施。一昨年は4300、昨年は4986ですからここ数年で取り組まれる方が随分と増えております。当日の体調不良でリハビリされない方を除いてもこれだけの数字になっていますので、日々の生活の中でリハビリは当然あるべきものとなっています。

14. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
8/18～8/23	夏祭り	おみこし・魚すくい・お菓子釣り・スイカ割り・お楽しみ抽選会
9/21～9/26	敬老週間	タオルをプレゼント
10/6～10/11	運動会	洗濯ばさみリレー・陣地取り・大玉転がし・玉入れ・パンつり
12/19～12/25	クリスマス会	スライドショー・キャンドルリレー・サンタさんへのプレゼント・合唱

15. 施設整備状況

◇ 整備事業

実施月	整備事業名	税込事業費（円）	リースの有無
7.12	地下タンクライニング工事	1,408,000 円	無

◇ 物品購入（1件10万円以上）

検収月	物品名	税込み購入額	リースの有無
7.11	会計用パソコン	198,000 円	無

16. 事業目標に対する総括

①安全

*状態把握の実施、そして危険予測意識を高めていく事で安全な環境を提供します。

ヒヤリハットにもありましたように、トイレに座ってもらったまま1時間経過させたことや画鋲のことがありました。幸いにも大きな事故には繋がっていないかもしれませんが、一歩間違えれば大惨事になり兼ねない問題です。普段よりひよっとしたら～になるかもしれないという意識や、問題が起きた時にこうなっていたかもしれないという意識を持ち続けることが危険予測意識を高めるという事に繋がっていくことと思います。継続していく事が必要だと大切だと思います。

②連携

＊お互いを認め合い「全ての仕事は繋がっている。」意識を持ち業務を行います。

業務上の情報伝達はできていたとしても、お互いを認め合い、補い合いという点では改めて難しい問題であると感じました。職員数減の期間が長くそこまでの余裕がなかったというのがほとんどの職員の思いであると感じました。ご利用者様に良いサービスを提供していくためにも必要な人員は確保しつつ、心に余裕が持てる状態で業務に向き合えるようにしていきたいです。

③ 地域のとの共生

＊地域の方と関わる時はどうしたら在宅生活にプラスになるのかを考えて行動・対応します。

それぞれの職員が長く在宅生活を送れるように考えてくれていたと感じています。介護職であれば自立支援を基本としながら対応し、看護師であれば本人や家族様に情報伝達を行い受診の必要性の有無や、時には自宅での内服についても助言してくれることがありました。この対応を続けることがデイサービス利用の継続に繋がっていくと感じています。

【4】ホームヘルプサービス（訪問介護、総合事業 訪問型サービス）

1. 総評

- *当初の予算に対し稼働率 94.8% 訪問回数月平均 471 回(R7 年度 463 回/月)支援の内訳は身体介護 48.7%、身体+生活 32.5%となっています。前年に比べ身体介護は増加しましたが、身体+生活は減少しました。生活支援も減少傾向です。通院乗降介助は増加傾向です。
- *定期的な利用はあるものの上半期は数字が伸びませんでした。ただ、下半期はケアハウスの介入が増加しました。特に毎日介入が必要な方を支援させてもらうことで上半期に比べ安定した数字を残すことができました。

2. 事業実施地域(令和 7.4.1～令和 8.3.31)

小阿坂町	8	笹川町	1	伊勢寺町	3	深長町	2	嬉野町(五町)	6
井村町	4	桜町	1	大黒田町	3	川井町	3		
大津町	1	殿町	1	鎌田町	1	日丘町	6		
八重田町	1	春日町	1	岩内町	1	平生町	2	ケアハウス	25
野村町	1	殿村町	1	美濃田町	2	塚本町	1	合計	75

*年間を通し 25 の地域 75 名の方々への訪問がありました。

3. 職種別職員数(令和 8.3.31 現在)

()内人数は再掲人数

	常勤	非常勤	常勤換算	兼務状況	採用	退職
管理者	(1)			サービス提供責任者		
サービス提供責任者	1	1				
訪問介護員	1	3	(2.4)			

4. 利用状況、訪問回数

単位:回

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要介護	385	416	404	449	378	352	325	426	486	448	444	434	4947
総合事業	24	36	32	31	33	31	38	37	28	26	24	38	378
乗降介助	29	24	23	20	22	24	53	22	29	23	19	21	309
初回・緊急加算	2	3	4	4	2	4	3	2	1	2	2	3	32
有償ケア	1	2	2	8	1	1	0	0	2	1	0	0	18
有償輸送	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	6
合計	441	483	465	512	436	412	421	487	546	502	489	496	5690

5. 営業日数

単位:日

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30	31	30	31	31	30	31	30	29	28	28	31	360

6. 利用実人員

単位:人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
46	44	43	40	40	41	43	45	44	44	41	43	514

7. 要介護状況

単位:人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
要支援2	2	3	3	3	4	4	5	5	4	4	4	5	46
要介護1	13	11	11	12	12	13	12	13	10	10	6	7	130
要介護2	19	18	16	15	15	16	16	16	15	15	16	19	196
要介護3	6	6	5	6	4	3	5	6	6	7	8	5	67
要介護4	3	2	2	3	4	3	3	3	4	5	5	6	43
要介護5	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
未認定	0	0	2	0	0	1	1	1	4	2	1	0	12
合計	46	44	43	40	40	41	43	45	44	44	41	43	514

8. 利用期間状況（令和 8.3.31 現在）

単位:人

期間	男	女	合計
1 年未満	8	11	19
1 年～ 3 年未満	3	7	10
3 年～ 5 年未満	3	10	13
5 年～10 年未満	2	3	5
10 年以上	0	1	1
合計	16	32	48

9. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	100	94
最低年齢	67	60
平均	85.2	87.5
全体平均	87.7	

10. 施設内研修

《自主研修会》

実施日	内容
R7.7.7	高齢者虐待(スピーチロック)
R7.8.25	福祉有償運送伝達研修
R7.11.16	調理実習
R8.2.24	緊急時の対応

11. 施設外研修

実施日	内容
R7.7.26	福祉有償運送運転者講習
R7.8.29	令和 7 年度介護保険等サービス事業者集団指導【動画視聴】

12. 監査・介護情報の公表調査等

実施日	名称	内容	担当者
R7.10.30	介護サービスの情報の公表	パソコンで入力	神保
R8.3.3	運営指導	書類確認	松本・角野

13. 苦情受付状況・「ヒヤリはっと」状況

買い物に関する事	シフトに関する事	忘れ・うっかりミス	その他
4 件	3 件	6 件	5 件

*18 件のヒヤリはっとが報告されました。買い物代行では利用者様の希望されている物をきちんと把握することの難しさを感じています。聞き取りや確認はしっかりと行う様努めていますが満足を得られないケースがありました。

幸い大きな事故に繋がる事案はありませんでしたが、小さなヒヤリ報告を振り返り再発防止に努めていきたいです。

14. ありがとうメッセージ

受付日	申し出者	内容
R7.5.9	デイ職員	人員不足・職員の休みも重なって介護職員 2 名体制の日があり困っていました。休みだったにも関わらずヘルパーさんが入浴介助に来てくれて助けてくれました。普段の日も時間があけばフロアに出てきて助けてもらっています。感謝しています。
R7.6.7	娘様	以前にカトリックにお世話になっていました。一昨日亡くなりましたが、ヘルパーさんに家に来て一人暮らしの母の生活を支えて頂きました。葬式の時にもカトリックで本当にお世話になったと自然に口に出ていました。感謝しています。
R7.9.19	娘様	母が入院し車いすの状態となりました。施設入所も決まりました。私たちは仕事をしながら自宅で世話ができた本当に助かりました。家族一同感謝しかありません。

15. 整備事業・物品購入

《整備事業》

実施月	整備事業	税込事業	リース利用の有無
R7.7.2	板金塗装(三重 582 さ 4647)	30,000 円	無し
R7.9.5	12 カ月点検(三重 582 さ 4647)	9,680 円	無し
R7.10.24	車検(三重 880 あ 2645)	89,850 円	無し
R7.10.20	車検(三重 581 こ 6867)	56,368 円	無し
R7.11.7	12 カ月点検	22,330 円	無し

16. 事業目標に対する総括

1.～安全～

責任を持って業務に当たり、チームで安全安心な環境を作ります。

＊ご利用者の支援についてはそれぞれが責任を持って業務に当たることができたと思います。

主任変更に伴い、チームと機能は再編成する必要があったため、業務分掌や見直しはまだ不十分かもしれないので、個々だけでなくチームとしての環境整備にも努めていく必要があります。

2.～連携～

すべての関係者と信頼関係を築き、連携して利用者を支えます。

＊ご利用者によって情報量の多い少ないはあると思いますが、時間に余裕がなくなることで情報共有が不十分になりご利用者様に迷惑が掛かる部分もありました。そのような時はチームでカバーしながらしっかりと連携を図っていくが大切であると認識しました。

3.～地域との共生～

共に歩んでいけるよう、地域との関係を深めていきます。

＊ほっと一息にも参加させてもらうようになりご利用者様宅に出向いて関わる方以外とも交流が持てるようになりました。今後も継続して地域に関われるようにしていきたいです。

【5】居宅介護支援事業所

1. 総評

1 年間の概況：前年度実績に比べれば数字は低いですが、ほぼ予算通りに計上できたかと思います。

良かった事柄：若い介護支援専門員さんが 9 月から入職して下さり半年間は 7 名体制でしたが、半年の間にはきちんと引継ぎが出来て令和 7 年度を終える事ができました。

今後 の 課題：令和 9 年度には制度改正が控えている事と今年度より処遇改善加算がいただけますが、それに伴うケアプラン連携システムの構築が必須条件になっています。

法人全体で実施しないとイケないので予算の事も考えつつ実施していきます。

2. 活動区域別状況 (R7.4. 1～R8.3. 31)

単位:人

小阿坂町	27	伊勢寺町	35	日丘町	12	深長町	12	岩内町	7
八重田町	12	大阿坂町	15	小野町	4	美濃田町	11	野村町	2
川井町	6	嬉野町	27	大黒田町	4	中町	1	石津町	1
矢津町	2	久保町	2	藤の木町	0	塚本町	2	魚町	1
上川町	1	大津町	1	小片野町	3	鎌田町	2	笹川町	2
新町	1	駅部田町	1	射和町	1	中央町	1	大口町	1
虹ヶ丘町	1	殿町	3	桜町	2	垣鼻町	1	大石	2
宝塚町	1	平成町	1	大河内町	1	岡山町	1	中林	2
田牧町	1	春日町	1	西之庄	1	山室町	3	清生町	1
下村町	1	平生町	2	五主町	2	五月町	1	田村町	1
春日町	1								
グリンピア三雲	2	アシスト	4	せせらぎ嬉野	2	シルバーハウス松阪	2	スバル	1
はあと	1	木の香	1	リールホーム	1	さくら木さん	1		
アクア川井町	1	アクアナーシング川井町	1	アクアホーム松阪山室	1			ケアハウス	15

※51 町・227 名の 13 事業所 33 名の利用者さんとの関わりがありました。

3. 職種別職員数 (令和 8.3.31 現在)

単位:人

	員数			兼務
	常勤	非常勤	常勤換算	
管理者	1	0		主任介護支援専門員
介護支援専門員	3	2	(1.0)	1 名主任介護支援専門員兼務

※経験豊富な平均年齢 57.4 歳 主任介護支援専門員は、2 名

※令和 8 年 3 月退職者を見越して 9 月から 1 名採用。半年間は 7 名体制で運営しました。

4. 利用状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	43	45	43	45	43	44	48	40	41	39	41	42	514
介護	159	147	148	155	146	161	157	155	147	153	159	154	1841
合計	202	192	191	200	189	205	205	195	188	192	200	196	2355

※予防 505 件に対して 514 件 介護 1972 件に対して 1841 件とケース数は 134 件減少しました。

5. 要介護状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	7	8	8	8	8	9	9	9	9	10	12	14	111
要支援2	13	15	16	17	15	15	16	15	17	17	17	17	138
事業対象	23	22	19	20	20	20	23	16	15	12	12	11	269
合計	43	45	43	45	43	44	48	40	41	39	41	42	514
要介護1	68	67	65	67	63	63	67	64	63	62	57	60	766
要介護2	56	50	53	50	50	54	50	48	44	46	49	49	599
要介護3	21	18	18	25	19	25	20	24	20	22	28	22	262
要介護4	10	8	7	10	11	14	15	14	16	18	20	17	160
要介護5	4	4	5	3	3	5	5	5	4	5	5	6	54
合計	159	147	148	155	146	161	157	155	147	153	159	154	1841

6. 加算状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回	2	2	7	3	2	11	9	5	2	6	3	5	57
予防初回	0	2	1	0	0	1	0	1	1	2	2	3	13
医療連携Ⅰ	5	1	5	2	1	0	4	4	0	0	3	1	26
医療連携Ⅱ	6	2	0	2	1	1	1	6	1	1	2	2	25
退院・退所	4	2	1	1	2	3	0	1	1	1	2	1	19
特定Ⅱ	159	147	148	155	146	161	157	155	147	153	159	154	1841

* ケース数が予測できそうで出来ない現状があります。

* 急な体調変化や家族環境の変化などによってまだまだ在宅で行ける・・・と予測していても施設を希望されケースに変動がおきます。

7. 利用期間状況 (R7.3.31 現在)

単位:人

期間	男	女	合計
1年未満	9	24	33
1年～3年未満	12	23	35
3年～5年未満	10	25	35
5年～10年未満	17	48	65
10年～15年未満	3	17	20
15年以上	1	3	4
合計	52	140	192

8. 年齢別状況 (R7.3.31 現在)

	男性	女性
最高年齢	100	101
最低年齢	60	60
平均	84.1	87.5
全体平均	86.3	

9. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実相談	210	210	191	222	227	208	213	215	257	218	212	237	2,620
(新規)	6	0	6	2	2	10	1	1	3	6	3	5	45
継続相談	236	239	262	311	281	264	277	256	222	256	244	314	3,162

10. 相談状況

単位:件

	訪問	来所	電話	合計
モニタリング	2092	0	7	2099
実態把握	602	7	593	1202
医療連携	51	0	213	264
介護者相談	164	23	473	660
サービス相談	472	5	874	1351
住宅改修・福祉用具購入	150	2	236	388
虐待発見相談	0	0	0	0
成年後見・権利擁護	0	0	0	0
苦情受付・相談	2	0	2	4
書類の申請代行	102	8	20	130
その他	287	10	477	774
合計	3922	55	2895	6872

*相談内容で多いのは家族さんからですが、デイサービス・ショート・住宅改修・福祉用具レンタル等が上位を占めています。

11. 施設内研修

《法人内研修》

法人事業報告にて掲載

《自主研修会》

実施日	研修内容
4月 5日	第1回 BCP について
5月 4日	訪問等が重なり時間調整出来ず中止
6月 7日	第2回 BCP について
7月 5日	法人全体研修発表に伴い内容の統一
8月 2日	事例検例会
9月 6日	スピーチロックについて
10月 4日	職員採用にて下半期の役割分担について
11月 1日	事例検討会
11月 11日	三法人事例検討会(なでしこ・さわやか・南勢カトリック) 有料老人ホーム入所者のサービス内容調整について
12月 10日 12日	消火器訓練の実施 指導者:ぬくもり職員 (元消防署職員)
1月 10日	法人行事と重なった為に中止
2月 7日	事例検討会・セクハラについて
3月 1日	第3回 BCP について

12. 施設外研修

《三重県介護支援専門員協会研修会》

実施日	研修内容	開催場所
6月 15日	・総会・ケアマネジメントと他機関協働について 地域共生社会実現に向けて介護支援専門員に期待する役割について	WEB ケアハウス会議室

《松阪市介護支援専門員協会研修会》

実施日	研修内容	開催場所
6月 23日	松阪支部・総会及び第1回研修会 ・今日から使える意外と身近な ICT 活用～業務効率化を目指して 実践報告	WEB ケアハウス会議室

7月22日	第2回研修会 ・権利擁護・虐待研修『バリデーション』とは ・認知症の人への援助法	
8月28日	第3回研修会 ・介護現場のハラスメント対応について	
9月18日	第4回研修会 ・薬剤師との合同研修会	
10月16日	第5回研修会 ・いのちについて考える ・グリーフケア	WEB ケアハウス会議室
11月12日	第6回研修会 ・ケースメゾット研修 緊急時に現れたモンスター～それはモンスター？	
12月15日	第7回研修会 ・心不全の理解と早期対応 悪化兆候を見逃さない為に	
1月20日	第8回研修会 ・松阪市の重層的支援体制整事業について	
2月13日	第9回研修会 ・拒否、妄想、依存に困っていませんか？ 問題に惑わされない方法を精神科医から学ぼう	

《事例検討会：第1・第2・第4・第5地域包括支援センター》

実施日	研修内容	開催場所
第1地域包括 地域ケア会議		
1月22日	第1回地域ケア会議(徳和地区) ・徳和地区 民生児童委員とケアマネの意見交換	徳和地区公民館
2月24日	第2回地域ケア会議(第一地区) ・第一地区 民生児童委員とケアマネの意見交換	第一公民館会議室
3月25日	第3回地域ケア会議(幸地区) ・幸地区 民生児童委員とケアマネの意見交換	松阪地区医師会2階

第2地域包括 事例検討会		
5月14日	第1回事例検討会 ・高い目標や理想と可能な支援との間にギャップがある	嬉野 社会福祉センター
7月16日	第2回事例検討会 ・在宅での生活を希望しているが受け入れ事業所が見つからない 状況の中での支援方法	
9月16日	第3回事例検討会 ・収入が多くても生活に困窮してしまう双極障がいのある方の支援方法	嬉野 社会福祉センター
11月18日	第4回事例検討会 ・お酒を止められない他責思考が強い支援方法	
1月16日	第5回事例検討会 ・家族が急逝した利用者への支援方法	
3月17日	包括より中止の連絡あり	

第5地域包括		
8月5日	第1回きやりああっぷ倶楽部 ・障害福祉サービスを知る	WEB ケアハウス
10月8日	第2回きやりああっぷ倶楽部 ・障害福祉サービスを知る	参加せず

12月16日	第3回きやりああっぷ倶楽部 ・認知症初期集中支援チームとは	花岡地区 市民センター
2月17日	第4回きやりああっぷ倶楽部 ・シャドーワークから見えてくる連携・協働の必要性 ないないづくしの高齢者を支える支援 パート2	

《その他》

松阪市介護保険課		
1月26日	ケアプランデータ連携システムの普及啓発に係る研修	WEB ケアハウス
3月19日	ケアプランデータ連携システムの普及啓発の成果報告会	

《令和7年度介護支援専門員実務研修実習受け入れ 8時間×3日間》

2月17日	初回訪問にてケアプランの作成について
2月21日	介護支援専門員の業務内容について
2月24日	初回訪問の再アセスメントと3日間の振り返り

1 3. 監査・指定更新・情報の公表調査・特定事業所集中減算

実施日	名称	内容
9月1日 3月1日	特定事業所集中減算	前期・後期共に減算対象に当てはまらず
10月27日	介護情報の公表	パソコン入力
2月20日	事業所指定更新	R8/4/1～R13/3/31 が有効期間となる。

1 4. 苦情受付の状況

受付日	苦情申立者	内 容
10月14日	本人	デイサービス看護師の対応について ・声かけなしにアクションを起こす(体温計を差し込み・血圧計の巻き方・荒っぽい言葉かけ)
11月9日	家族	ショート利用中の対応について(電話連絡・薬等) ・旅行中にショートメール届き折り返し電話するも担当不在にて不明と。その後もこの件に関しての説明もない ・利用前に鎮痛剤をもらってきてと言われ用意するも数が減っておらず服用していなかった。
02月18日	本人	ぬくもりの家利用中について ・施設側はリハビリのつもりで利用者に事務作業を手伝ってもらっているかもしれないが他の人の情報が洩れるのではないかな？

1 5. 行事 《地域支援事業・ほっと一息》

法人ページで掲載

1 6. 整備事業・物品購入

《整備事業》《物品購入》

なし

1 7. ありがとうメッセージ

総数	8件
法人	0件
CA委員	0件
特養	2件
デイサービス	2件

ぬくもり	1 件
ヘルパー	4 件
ケアハウス	0 件
居宅	2 件

＊昨年あたりよりメッセージの拾い出しが激減しています。ありがたいは、いただいていると思いますが書面や言葉にしたための事を怠っているように感じています。拾い出す介護支援専門員の心に余裕がないのかもしれません。

1 8. 事業目標に対する総括

＊**安全：利用者様の安全・安心な暮らしを守れるケアプランを作り寄り添います。**

- ・利用者様が安全な日常生活が送れることが前提であるので、思いに寄り添い一人一人の言葉を心に残し記録し・・・本人はもちろんの事、家族様や関係者が安心できるようなケアプランを作っていけたと思っています。

＊**連携：互いに褒め合い補い合い信頼できる仲間でチーム力をアップします。**

- ・一人一人が自分のケースと同じように他のケースにも関心を持ち、自分が休みの時でもきちんと対応してくれる・・・だから安心して休める・・・そんな居宅は、法人一のチーム力ある事業所だと思います。

＊**地域交流：地域・施設・介護保険・独自サービスで住み良い町を作ります。**

- ・ほっと一息の継続事業が、地域との共生であったり信頼関係の積み重ねであったり、とても大切な役割を担っていると思います。そして居宅中心から法人の事業全体へと輪を広げていく事ができてきました。
- ・今後も益々コミュニティが必要な時代、法人の窓口としての役割を果たしていきたいと思します。

【6】伊勢寺デイサービスぬくもりの家（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 総評

- ・職員では、5月に入職した職員（非常勤職員・調理員）が6月で退職しました。その他の職員は異動・入退職はなく、同じ職員で支援する事ができました。
- ・年間稼働率は85.8%でした。事業計画では85%を目標としていましたので、達成できました。10月にコロナウイルス感染症で2日間休業しましたが、夏場に高い稼働率を維持できた事が理由です。
- ・新たに加算として、科学的介護推進体制加算（厚生労働省とデータ連携を行う）を算定しました。単価は高くない加算（約19万円／年）ですので、大きな収入アップにはつながっていません。しかし今後必須になる加算であるために、今後も算定を継続していきたいです。

2. 職種別職員数

単位：人

R8 年 3 月末現在				兼務等の状況	R7 年度実績			
職種	員数				採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
センター長	1			生活相談員兼務				
介護職	3	2	(5)	生活相談員、調理員				
看護師		4	(1.2)	機能訓練指導員兼務				
管理栄養士								
調理員		2	(0.9)			1		1
生活相談員	(2)			介護職兼務				
事務員								
機能訓練指導員		(4)	(1.2)	看護師兼務				
用務員		1	(0.4)					
() は兼務								

*調理員1名が、5月に採用し6月で退職しました。

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	483	521	482	551	537	523	458	461	477	437	432	459	5,821	485
新規利用	0	1	2	2	0	0	1	1	1	0	3	2	13	0.6
利用中止	0	0	0	0	0	3	1	2	1	2	1	1	11	0.8

*延利用者数…5,821名（R6年度より+398名）、新規利用…13名（6年度より+6名）、利用中止…11名（R6年度より+2名）でした。

4. 地域別利用者分布（R8.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺	16
大阿坂、小阿坂、美濃田	10
深長、八重田、野村、岩内、日丘	6
その他	15
計	47

5. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	27	25	27	26	26	25	25	25	24	24	26	306

6. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
46	46	44	49	47	48	46	44	45	45	47	47	554

7. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比 (%)
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	3	19	1.6	3
要支援2	6	6	6	7	7	5	5	4	5	5	5	5	66	5.5	11
要介護1	23	23	22	23	22	21	21	21	21	20	21	20	258	21.5	47
要介護2	12	12	11	13	14	15	15	13	13	13	14	14	159	13.3	29
要介護3	4	4	4	5	3	5	4	4	4	4	4	4	49	4.1	9
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0.3	1
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	46	44	49	47	48	46	44	45	45	47	47	554	46.2	100

* 合計は 554 名でした（昨年度－14 名）

* 令和 6 年度と比べて延利用者数は増えていますが、実人数は減っています。入浴と交流（レクリエーションなど）を目的にされる方が多く、一人の利用回数が増えた結果です。

8. 施設内研修

《自主勉強会》

研修名	開催年月日	参加職員
【自主勉強会】令和 6 年度の振り返り 担当：野口	6 月 24 日（火）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】虐待防止について 担当：木下	7 月 16 日（水）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】入浴介助について 担当：森上、谷	1 月 31 日（土）	野口、森上、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】法令遵守について 担当：野口	2 月 16 日（月）	野口、奥田、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】認知症について 担当：森本、山中	2 月 23 日（月）	野口、奥田、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】感染症（嘔吐物の処理）について 担当：奥田	3 月 26 日（月）	野口、奥田、森上、木下、森本、谷

9. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種

10. 苦情受付状況

《苦情報告》

受付日	苦情申立者	苦情内容
2 月 18 日	本人様	利用者様のスタンプカードを他利用者様に片付けるのを手伝ってもらっている。それは個人情報保護の違反ではないか。

《ひやりはっと（事故）内容》

受付日	ひやりはっと（事故）内容
4 月 12 日	手の爪切り時に、指先を切ってしまい出血させてしまう。
4 月 21 日	おやつ時に机のパーテーションが倒れて、職員が利用者様の目の前でおやつにお茶をこぼしてしまう。
4 月 30 日	滑車運動前に、取っ手部分が顔面に当たってしまう。
5 月 24 日	3 名の利用者様の点眼薬と軟膏を返却し忘れてしまう。
6 月 14 日	手の爪切り時に、指先を傷つけてしまい出血させてしまう。
8 月 2 日	送迎時に膝折れがあり、地面に膝から崩れ落ちる。
8 月 5 日	持参されていた財布を間違えて、別の方の袋に入れてしまう。
11 月 8 日	昼食のフルーツを提供し忘れ。（皿のみで、何も盛り付けられていなかった。）

11月10日	帰りの送迎前に、玄関ドアにぶつかってしまう。
12月13日	静養室で、ベッド付近で転倒。
1月14日	膝折れがあり、臀部から転倒。
2月4日	滑車の運動器具で、取っ手部分が右目付近に当たる。

* 苦情は1件。個人のスタンプカードを他利用者様が片付けている（見ている）という状況でしたので、プライバシーを侵害されたという気持ちにさせてしまいました。そのカードにはご利用日とスタンプが押されているのみでしたので、大丈夫だろうと判断していました。

* ひやりはっと（事故）では、転倒事故が3件ありました。幸いにも長期治療を要する方はいませんでしたので、すぐに問題解決となっています。

1 1. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
11月27日	本人様	本日の誕生日で100歳になりました。デイサービスでは、体操や色々な話など楽しい時間を過ごしています。100歳まで元気に過ごせたのは、デイサービスのおかげです。

1 2. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	405	440	407	470	459	445	377	386	402	365	360	381	4,897

1 3. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
7月15日(火)	コーラス斎王さん訪問	【内容】コーラス斎王さんの合唱
8月20日(水)、25日(月)、26日(火)、28日(水)、29日(金)、30日(土)	夏まつり	【内容】盆踊り、綿菓子作り、金魚すくい、風船すくい、輪投げ、スイカ割り
9月19日(金)	伊勢寺幼稚園さん訪問	【内容】歌、ふれあい遊び、ゲーム(玉入れ)、 【参加人数】園児16名、先生5名
10月26日(日)	松阪合唱フェスティバル2025	【参加人数】金曜日のご利用の方・14名、職員29名 【曲目】世界の国からこんにちは、線路は続くよどこまでも、青い山脈
11月6日(木)、7日(金)、8日(土)、10日(月)、11日(火)、12日(水)	運動会	【内容】玉入れ、ふれあい遊び、踊り、お正月遊び
11月28日(金)	伊勢寺幼稚園さん訪問	【内容】歌、ふれあい遊び、ゲーム(玉入れ)、 【参加人数】園児16名、先生5名
12月1日(月)～12月5日(金)	9周年祭	●12月1日『おやつ作り(鬼まんじゅう、甘夏かん)、すごろくゲーム、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】22名 ●12月2日『大正琴・輝様、富士産業様のおやつ(金魚焼き)、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】21名 ●12月3日『マジック・野田のおやじ・野田様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】19名 ●12月4日『ジャグリング&バルーンアート・堤様、スライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】20名 ●12月5日『コーラス斎王様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】17名
12月23日(火)	三雲チルドレンさん訪問	【内容】三雲チルドレンさんの合唱 【参加人数】28名
12月23日(月)～27(木)	クリスマス会	【内容】サンタクロースと写真撮影・プレゼント(クッキー)渡し
1月10日(土)	獅子舞さん	【対象利用者様】土曜日にご利用の方・18名 【時間】13:30～14:00

(月例行事)お誕生会、リンパマッサージ、講師の先生によるコーラス・音あそび・健康体操・フラワーアレンジメント・生花・太鼓・フラダンス

1 4. 施設整備状況

《整備事業》

実施月	整備事業名	税込事業費(円)	リースの有無
4 月	残塩計サンプリングポンプ交換／ロンシール機器	52,000 円	無
8 月	浄化槽・放流ポンプ (2 台) 交換／日研プラント	233,200 円	無
9 月	パンク (セレナ) 修理／伊勢寺自動車	2,200 円	無
9 月	給湯器 (3 台) の保守契約／ノーリツ	95,700 円／年	無
10 月	洗濯機の故障／トータルサービス	7,000 円	無
11 月	給水管直結工事／オオコーチ	320,100 円	無
3 月	浄化槽・プロアモーター交換／日研プラント	43,395 円	無

* 給湯器 3 台 (浴室、利用者様トイレ) …R7 年 9 月から保守契約を結んでいます。

* 給水管直結工事…タンクを経由せずに、市水を直接使用する直結工事を施工。

タンクの維持費に約 10 万円／年がかかるため、タンクの使用中止を決めました。

《物品購入》 (1 件 10 万円以上)

検収月	物品名	数量	税込み購入額	リースの有 無

1 5. 寄付

寄付	寄付者	寄付内容

1 6. 事業目標に対する総括

1. 相手の事を知り、気づきを深めることで、安全なサービスを提供します

*利用者様の疾患情報や家族構成の把握に努め、個々の状況に応じた気づきを深めながら、サービス提供できました。一方で、年度内に数件の事故が発生したことは大きな反省点です。ひやりはっと報告などから再発防止策を全職員で共有・実施することで、今以上に安全性の向上を図ります。

*コロナウイルス感染症で、利用者様 2 名が感染され、2 日間の臨時休業を実施しました。送迎車内での感染が予想されますので、今後も感染対策を実施していきたいです。

2. お互いの立場や意見を尊重し、情報共有し合うことで、連携を深めます

*職員間での積極的なコミュニケーションを意識し、円滑な情報共有を行うことができました。多職種間での連携が深まったことで、利用者様に沿った対応ができたと思います。今後もこの連携を継続させ、法人内の職員や外部機関との情報共有の質も高めていきたいと考えています。

3. 行事への参加、施設の行事にお招きすることで、地域の方との交流を図ります

*今年もレクリエーションの一環として、様々な団体さんに訪問していただきました。その中でも伊勢寺幼稚園さんと大正琴・輝さんは、地域にある団体さんです。利用者様の中には家族 (幼稚園児) や知人がいるなど、地域に根差した施設としての再認識につながる場面もありました。

【7】 ケアハウス

1. 総評

今年度も平均入居者が約39人と当面の目標の45名にも達する事ができなかった。問合せ、見学は一定の数いらっしゃるが、入居に結びつかないケースが多い。迅速かつ、親切な対応が求められる。又今年は新たに岡本先生をお迎えしてコーラス教室を発足し、利用者様に好評をえている。絵手紙教室も初めて来てもらい、楽しい時間をすごした。体験入居後、他の施設へ行かれたケースがあり、体験後のフォローと来て頂きたいという熱意を伝えるよう来年度はしていきたい。

2. 職種別職員数(R83.31 現在)

単位：人

職種	員数		兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1		事務員兼務				
介護職	1	1					
(管理)栄養士	1	1					
生活相談員	1			1		1	
計	4	2		1		1	

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用人員		41	39	38	37	38	39	40	39	38	38	38	39	464	39
入所人員	男					1						1		2	
	女			1	1	1	2		1				1	7	
退所人員	男	1	1	1					1					4	
	女	1	1	1	2	1			1	1		1		9	

4. 入退所理由

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	9	死亡による	2
老人保健施設	0	在宅復帰	3
養護老人ホーム	0	長期入院	2
ケアハウス	0	特養	3
病院	0	他施設	3
短期入所継続	0	その他	0
他施設	0		

※退所理由の概況

5. 要介護状況（R8.3.31 現在）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
自立	6	6	6	5	6	6	6	7	7	7	7	8	77	6.4
総合事業	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2.0
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
要支援2	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3	39	3.2
要介護1	11	10	11	12	12	13	14	13	13	13	13	11	146	12.2
要介護2	13	12	12	11	11	10	10	9	9	9	9	11	126	10.5
要介護3	5	5	3	3	2	2	2	3	2	2	2	1	32	2.7
要介護4	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	3	0.3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

6.入居期間状況(R8.3.31 現在)

単位：人

期間	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	2	3	1	1	0	0	7
女	5	7	5	10	2	2	31
計	7	10	6	11	2	3	39

7.年齢別状況(R8.3.31 現在)

単位：歳

	男性	女性
最高齢	93歳	98歳
最低齢	66歳	70歳
平均	80歳	84歳
全体平均	82歳	

8.各種会議

会議名	出席者職名	実施月
職員会議	施設長、課長、栄養士、相談員、ケアワーカー	毎月1回
課題解決会議	同上	毎月1回
事故発生防止委員会	同上	毎月1回
身体拘束委員会	同上	毎月1回
入居判定委員会	同上	随時
給食会議	施設長、課長、栄養士、委託業者	毎月1回
PA会議	施設長、課長	毎月1回
第三者委員会	施設長、相談員	年2回

9.施設内研修

開催年月日	研修テーマ等	職種
4/25,5/30,6/27,7/29,8/29,9/26,10/24,11/25,12/25,12/30,1/30,2/26,3/30	ヒヤリハット研修	全職種
4/10,4/16,5/8,5/14,7/10,7/16,8/7,8/13,10/9,10/15,11/13,11/19,1/15,1/21,2/12,2/18	全体研修	全職種
9/10	虐待研修	全職種

10.施設外研修

	研修名	主催	参加職種
4/23	老施協・全軽協合同研修会（オンライン）	老施協、全軽協	施設長
7/24	〃	〃	〃
10/15～16	カトリック老施協関西ブロック研修会	カトリック老施協	〃
1/23	老施協・全軽協合同研修会（オンライン）	老施協、全軽協	〃

11.苦情受付状況

受付日	苦情申立者	内 容
12/27	ケアマネジャー	ポータブルトイレが必要な方の物を、そのまま他の入居者の所へ持っていった。必要な方に無かったのと、他人が使用していたものを消毒等もせずもっていき、大変失礼なことをしてしまった。

12.行事

実施日	行事名	内容・参加者等
4/1	開設記念	入居者に紅白饅頭配る
4/20	御復活昼食会	昼食会・御復活特別メニュー
5/5	端午の節句	端午の節句メニューとしょうぶ湯
6/26	100円ショップツアー	「セリア」で買い物
7/10	入居者健康診断	松阪市健診センターより健康診断実施
7/22	絵手紙教室	「絵と文字と想いを届ける」を描く
8/6	夕涼み会	夕食会、景品、職員余興(ダンス)
9/1～9/3	敬老写真撮影	個人記念撮影

9/15	敬老昼食会	敬老の日昼食会
9/30～(月 1 回)	コーラス教室	皆で一緒にコーラスを楽しむ
11/4	買物ツアー	「わたせい」で買物
11/6	紅白ゲーム大会	ゲームにより入居者同士の交流を図る
12/3	入居者忘年会	夕食会・景品・職員余興
12/10	防災訓練	初期消化訓練
12/22	季節風呂	ゆず風呂
12/25	クリスマス昼食会	クリスマス昼食会・クリスマスプレゼント
1/1	元旦昼食会	元旦昼食会・お屠蘇のふるまい
1/1～1/3	正月三が日行事	初春書初め、ことわざカルタ・トランプ、トントン相撲
1/10	獅子舞訪問	舞の見物
3/28・29	花見	桜の花見
3/30	避難訓練	ケアハウス避難訓練(夜間想定)

(月例行事)誕生会、連絡会、各種クラブ、御ミサ他

1 3. クラブ活動等

	気まぐれクラブ		音楽クラブ		頭の体操クラブ		フェルトクラブ		コーラス教室		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
4 月	1	7	1	6	0	0	1	4	0		3	17
5 月	1	8	1	4	0	0	1	6	0		3	18
6 月	1	7	1	3	0	0	1	5	0		3	15
7 月	1	8	1	7	1	12	1	4	0		4	31
8 月	1	7	1	8	1	5	1	5	0		4	25
9 月	1	8	1	10	1	6	1	5	1	17	5	46
10 月	1	9	1	11	1	10	1	5	1	13	5	48
11 月	1	6	1	5	1	6	1	4	1	9	5	30
12 月	1	7	1	18	1	13	1	6	1	10	5	54
1 月	1	8	0	0	0	0	1	4	1	7	3	19
2 月	1	10	1	10	1	6	1	4	1	11	5	41
3 月	1	7	1	8	1	8	1	5	1	14	5	42
合計	12	66	11	90	8	92	12	57	7	81	50	386

1 4. 施設整備状況 (1 件 10 万円以上)

実施月	整備事業・物品名	税込事業費(円)
4/10	① 厨房配膳台 2 台	606,000
4/10	② 消防設備(誘導灯等)	318,000
4/25	③ 防犯カメラ一式	1,090,000
5/2	④ 井水給水埋設配管漏水修理	231,000
7/4	⑤ 食器洗浄機	226,000
9/25	⑥ インターネット用パソコン更改	198,000
10/18	⑦ 縦型冷蔵庫	379,000
	計	3,048,000
R8.2	非常用発電機更新工事: 鈴鹿テクト(9 年リース 78,870 円/月)	6,550,000 円

《整備及び物品購入について、取替え、交換・購入の理由》

- ① 監査の指摘事項で、床から 30 センチ以上、埃等の侵入を防止する措置のある配膳車に合致していなかった為、新しく導入。
- ② 消防機器点検にて修繕箇所の修繕を行った。
- ③ 物を盗まれたとの相談や、発言が多く又、資源ごみや燃えないゴミなどを指定日には無い日に置いてあることが頻発するため、カメラにて録画しておく必要性が高まった為導入。
- ④ 特養の門の前あたりから水がわき出しており、アスファルトをめくるとケアハウスへの送水管から漏水。
- ⑤ 食器洗浄機が経年劣化の為、部品交換が必要となるが、交換部品がメーカーに無い為買い替
- ⑥ 縦型冷蔵庫の温度が下がらない現象。10 年以上経過している為、買い替えた。

1 5. 事業目標に対する総括

令和7年度は39名平均で低迷した。日々の援助を誠意をもって対応するのはもちろんであるが、利用者様がいけないことには始まらないので、新規獲得に来年度は知恵をしぼっていききたい。景色が良い、比較的外出等は自由、信者にとっては週に1回御ミサがある、入浴は浴室が清潔で好きな時間に入浴できる等アピールポイントを共有し、一人でも利用者様の入居、定着につなげたい。

〔目標の振り返り〕

○ ひとりひとりが責任者として「安全」な環境を守ります。

①いつ起きるか分からない、南海トラフ地震、火災を想定し、BCP を各自が理解し、どのような役割を担うか常に考え、共有していく。

②小さなことでもヒヤリに上げ、ヒヤリハット記録を振り返り、月に1度事例検討会、事故発生防止委員会を実施します。気づきや解決策の言語化・共有を行います。同じミスを繰り返さない仕組み作りを行います。

③明確な感染対策について、入居者様等への迅速で丁寧な情報提供、また協力要請を行い、共に安心した生活を築いていきます。利用者様が穏やかに安心して生活できる環境を作ります。

- ・ BCP については、まだ書面を作成しただけで、職員全員が共通認識をもつところまで至っていない。まずは基本的な防災知識や、現在の備蓄品の場所、数量などを今一度確認する機会をもって防災意識を高めていきたい。

- ・ ヒヤリハット研修については毎月行い、2重チェックも常態化したが、それでも漏れがあるので、気をつけていきたい。

○ 互いに信頼し「連携」しサービスを向上していきます。

①サービス向上の為、ケアレスミス、聞いていない、知らないをなくします。

②サービス向上の為、自己啓発に努めます。又、朝のミーティング、日々の申し送り、2重チェックを徹底します。

- ・ その日に起こったことは、申し送り日誌を読んで漏れがないようにしているが、どうしても情報の漏れであったり、思いこみで判断してしまうことあった。曖昧な事はきちんと確認し、聞いていないということもなくしていきたい。

○ ひとつひとつの交流を通して「地域との共生」を目指します。

① ほんと一息などの交流事業には積極的に参加し、会議にあたっても自分の意見をもって参加します。

② 身近にある存在として共に歩めるよう、理解と交流を深めます。

③ レベルアップと法人内でのコミュニケーションを推進するため、研修には積極的に参加します。

- ・ それぞれ割り当てられた担当は、誠意をもって参加できたと思う。来年度はさらに、積極的な姿勢で取り組みたい。外部研修への派遣が施設長と栄養士だけだったので、良い研修があれば全職種派遣できればと思っている。